

問題番号		正 答		配 点	
第一問	問題1	1番	イ	3	21
		2番	ウ	3	
	問題2	1番	ア	3	
		2番	エ	3	
	問題3	1番	イ	3	
		2番	ア	3	
3番		ウ	3		
第二問	1	(1)	エ	2	13
		(2)	イ	2	
	2	(1)	(例) dinner	3	
		(2)	each	3	
		(3)	raining	3	
第三問	1	held	2	23	
	2	ウ	3		
	3	showed us an interesting story he	4		
	4	(例) 江里たちは、気球に乗っている人々が校庭の絵とメッセージを見ることができたかどうかわからなかったから。	4		
	5	エ	3		
	6	(例) They asked other students to grow flowers in their own pots at home.	4		
	7	ア	3		
第四問	1	(例) 学校の図書館を利用した生徒の延べ人数。	4	31	
	2	know what others are thinking	4		
	3	make some new events	3		
	4	④	ウ		3
		⑤	イ		3
	5	(1)	(例) The students who read more than 100 books in a year can.		4
		(2)	(例) He wants to write about the books which teachers like in the library.		4
6	ア	オ	6		
第五問	1	(例) What's the matter?	4	12	
	2	(例) This restaurant is closed today. But there is another good sushi restaurant near here. Why don't you go there?	8		

英語

正答率・無答率・得点率・その他

問題		正答率 ←	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~107点 b:106~86点 c:85~27点)			
第一問	問題1	1番	51.5%	0.0%	51.5%	a: 83.2%	b: 59.9%	c: 19.9%
		2番	66.9%	0.3%	66.9%	a: 93.5%	b: 73.5%	c: 40.4%
	問題2	1番	77.5%	0.0%	77.5%	a: 100.0%	b: 95.2%	c: 43.2%
		2番	59.0%	0.3%	59.0%	a: 84.1%	b: 67.4%	c: 32.2%
	問題3	1番	93.8%	0.0%	93.8%	a: 100.0%	b: 98.0%	c: 84.9%
		2番	90.3%	0.0%	90.3%	a: 99.1%	b: 93.9%	c: 80.1%
3番		75.8%	0.0%	75.8%	a: 96.3%	b: 76.2%	c: 60.3%	
第二問	1	(1)	74.5%	0.0%	74.5%	a: 97.2%	b: 83.7%	c: 48.6%
		(2)	68.9%	0.3%	68.9%	a: 94.4%	b: 75.5%	c: 43.2%
	2	(1)	61.8%	6.8%	63.3%	a: 87.9%	b: 73.7%	c: 34.7%
		(2)	54.5%	10.0%	54.5%	a: 91.6%	b: 64.0%	c: 17.8%
	3	(1)	22.5%	8.3%	24.8%	a: 51.1%	b: 21.1%	c: 9.4%
		(2)	56.5%	5.0%	57.4%	a: 85.1%	b: 59.2%	c: 35.3%
第三問	1	88.5%	1.0%	88.8%	a: 98.8%	b: 96.4%	c: 74.0%	
	2	33.0%	2.0%	35.0%	a: 71.7%	b: 36.4%	c: 6.7%	
	3	6.5%	23.8%	24.0%	a: 52.8%	b: 23.6%	c: 3.3%	
	4	46.8%	0.5%	46.8%	a: 66.4%	b: 48.3%	c: 31.1%	
	5	16.8%	32.3%	21.7%	a: 53.0%	b: 15.7%	c: 4.8%	
	6	41.5%	1.8%	41.5%	a: 75.7%	b: 33.3%	c: 24.7%	
	7	29.6%	13.3%	54.5%	a: 76.2%	b: 61.4%	c: 31.3%	
第四問	2	(1)	20.0%	2.5%	20.6%	a: 47.7%	b: 16.8%	c: 4.6%
		(2)	40.0%	19.3%	41.3%	a: 73.5%	b: 49.9%	c: 9.1%
	4	④	52.0%	0.3%	52.0%	a: 85.1%	b: 54.4%	c: 25.3%
		⑤	50.3%	0.5%	50.6%	a: 87.9%	b: 53.1%	c: 20.8%
	5	(1)	15.0%	29.0%	26.2%	a: 58.4%	b: 23.5%	c: 5.3%
		(2)	6.0%	33.3%	19.3%	a: 44.2%	b: 14.5%	c: 6.0%
6	42.3%	2.3%	63.8%	a: 88.8%	b: 65.3%	c: 43.8%		
第五問	1	42.5%	14.5%	50.4%	a: 76.9%	b: 55.4%	c: 26.0%	
	2	1.5%	26.5%	31.7%	a: 57.6%	b: 35.5%	c: 8.0%	
計				49.8%	a: 75.9%	b: 52.8%	c: 27.6%	

正答率: 完全正解の割合 得点率: 配点に対する平均点の割合

1 出題のねらいと内容

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の3領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、基礎的・基本的な事項を踏まえ、国語を適切に表現し正確に理解する力及び応用力をみることをねらいとした。

第一問では、大学受験生の主人公と祖母との交流を描いた文章を素材として、叙述に即して、登場人物の様子や心情などを豊かに読み取り、適切に表現する力をみようとした。

第二問では、科学において確からしいということについて述べた文章を素材として、叙述に即して、展開を捉える力及び書き手のものの見方や考え方を的確に捉え、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「三冊子」を素材として、古典の基礎的な事項の知識・理解を基に、内容を把握する力及び古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第四問では、基礎的な漢字を読む力や書く力をみようとした。また、合唱コンクールの紹介についての話し合いの場面を素材として、言語についての知識を活用する力及び発言の内容を的確に捉える力をみようとした。

第五問では、俳句の中から選び、その選んだ理由を書くことによって、課題から豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞文学的な文章の読解

問四 叙述に即して文章の内容を捉える力に課題

文章の内容を的確に捉えているかを問う問題。

(二)では光一の心情を的確に表現できていない解答が多く見られた。心情や様子を表現する多様な語句を理解し、本文の内容を的確に把握させたい。また、(三)の無答率は21.3%と、本文から言葉を抜き出す問題としては高いものとなった。前後の表現を手がかりとし、本文の展開を把握した上で、適切な箇所を捉えることが十分にできていないと思われる。叙述に即して文章の内容を的確に捉える力を養いたい。

問五 心情を読み取り、適切に表現する力に課題

登場人物の心情を読み取り、説明する問題。描写から心情を捉えることはできているものの、その心情が生じた理由を説明できていない解答が多かった。様々な場面における登場人物の心情を考える活動を通して、心情の変化を丁寧に捉えさせるとともに、読み取ったことを適切に表現する力を育てる指導が必要である。

＜第二問＞説明的な文章の読解

問一 叙述に即して文章の展開を捉える力に課題

叙述に即して空欄に適する接続詞を選ぶ問題。正答「しかし」の選択率は45.5%であるのに対し、誤答「つまり」の選択率は48.0%と正答の選択率を上回っている。空欄前後の文が逆接の関係にあることを捉えられなかったからだと考えられる。接続詞や呼応の副詞の役割を明確に認識させ、文章の展開や構成を正確に捉えさせるような指導が必要である。

問三 文章の展開に着目して内容を捉える力に課題

傍線部の抽象的な内容を的確に捉えているかを問う問題。(二)の正答率は17.5%と非常に低かった。具体例を手がかりに、叙述に即して因果関係を把握するなど、文章の展開に着目して、内容を的確に捉える力を養いたい。

問六 文章全体の内容を捉え適切に表現する力に課題

本文全体の内容を捉え、筆者の主張を説明する問

題。得点率は19.6%で昨年度(16.4%)より微増したが、無答率は30.8%と高い水準にある。また、解答したものの中には、本文中の叙述を根拠としていないものも多く見られたので、本文の内容を的確に捉えられなかったことがうかがえる。筆者の主張や文章の展開などを捉える力を養う指導が望まれる。

＜第三問＞古文の知識・理解

問三 古文の内容を捉え、適切に表現する力に課題

古文の内容を捉え、適切に表現する問題。得点率は8.4%と非常に低かった。本文の内容はある程度捉えられているものの、その内容を自分の言葉で適切に表現することができていない解答が多く見られた。古人のものの見方や考え方に触れ、そこから気付いたことを、自分の言葉で表現する力を養いたい。

＜第四問＞言語事項及び話すこと・聞くことの知識・理解

問二(三) 敬語の体系的な理解に課題

謙譲表現を主語に合わせて尊敬表現に改める問題であるが、「拝見します」の一部を改めた解答や、尊敬表現を二重に用いた解答が多く見られた。3種類の敬語表現の違いを理解し、適切に運用する力を身に付けさせたい。

＜第五問＞目的に応じて適切に書くこと

伝えたい事柄について表現を工夫して書く力に課題

無答率は1.8%と低かったが、得点率は54.8%とそれほど伸びなかった。俳句から読み取ったことや想像したことと、その俳句を選んだ理由とを十分に結び付けられていない文章が多く見られた。課題に対して自分の思いや考えを書く際には、伝えたい内容が読む者に的確に伝わるよう、根拠を明確にししながら、構成や表現を工夫して書けるような指導が求められる。

1 出題のねらいと内容

「地理」、「歴史」及び「公民」の3分野について、社会的な事象に対する関心、基礎的・基本的な内容に関する知識・理解、資料を基に思考し判断する力及び現代社会の諸事象を多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、「南アメリカ州の農業」を題材とし、地理に関する基礎的・基本的な知識・理解、南アメリカ州の農業の特色について、地図や資料を基に考察したことを適切に表現する力をみようとした。

第二問では、「基本的人権と社会保障」を題材とし、人権や国会、内閣に関する基礎的・基本的な知識・理解、現代社会の社会保障について、資料を基に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「日本の古代から近世までの政治に関

するおもなできごと」を題材とし、古代から近世までの政治に関する基礎的・基本的な知識・理解、近世の政治改革の特色について、資料を基に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「日本の工業のうつりかわり」を題材とし、日本の工業地帯に関する基礎的・基本的な知識・理解、産業の立地と地理的条件の関連付けなどについて、資料を基に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「日本の企業のものづくり」を題材とし、企業や個人の経済活動に関する基礎的・基本的な知識・理解、日本の伝統的工芸品について、資料を基に考察し、適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察**<第一問> 地理的分野の問題**

複数の資料を関連付けて考察し、論理的に表現する力に課題

1 誤答の選択割合で最も高いのはウ(69.0%)であった。赤道が地球を南北にそれぞれ90度に分けることから、大陸の中心近くを通るウを誤って選択したものと思われる。地図帳を普段から積極的に活用し、大陸や世界の国々の位置関係を確認するなど、基礎的な知識の定着を図る指導が必要である。

5 (2) 論述問題の中で扱う資料が最も多く、正答率、得点率ともに最も低かった。無答率はそれほど高くないことから、資料を単独で読み取る力は付いていると思われる。複数の資料から共通点を見つけたり、読み取った内容をまとめたりする学習を通して、論理的に考える力を伸ばす指導が必要である。

<第二問> 公民的分野の問題

人権や国会、内閣に関する基礎的・基本的な知識・理解に課題

2 誤答の多くが平等選挙や普通選挙権・法等であった。問題文の「収入や性別などにかかわらず」や「選挙権を得る」といった文言から解答したものと思われる。基本的人権の保障と選挙がどう結び付くのか、筋道を立てて理解を深める指導が必要である。

4 誤答の選択割合で最も高かったのがウ(36.4%)であった。国会と内閣の役割の違いや、内閣総理大臣との関係性など、基本的な政治のしくみを理解し、知識の定着を図る丁寧な指導が求められる。

<第三問> 歴史的分野の問題

歴史の流れを意識した歴史的事象の理解と、知識を活用して表現する力に課題

3 (2) 誤答の6割が「武家諸法度」であり、問題文の「武士」という語句から連想したものと思われるが、時代が異なり、歴史を正確に捉えていないことがうかがえる。用語や語句等を単に暗記するのではなく、時代の流れを意識した学習の充実が望まれる。

5 論述問題の中で誤答率が最も低かったが、正答率は4割にとどまった。資料から読み取る内容は比較的容易なものであったが、文章として適切に表現することができず、正答まで至らない解答となっている。既存の知識を活用しながら、資料と結び付けて適切に表現する力の育成が求められる。

<第四問> 地理的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

資料から得られた情報を総合的に考察し、適切に表現する力に課題

2 (2) 誤答の選択割合で最も高いのはエ(70.5%)であった。「八幡製鉄所」から企業や財閥を連想し選択したと思われるが、問題文をよく読めば適切でないことは分かる。2(1)の得点率も6割にとどまることから、歴史的な背景や地理的条件など、各分野の知識を融合して捉える学習が必要である。

4 (2) 論述問題の中で、無答率が最も高かった。資料のどこに着目して論述すべきか判断に迷い、論述できなかったものと思われる。資料にある情報を項目ごとに整理・分類し、要点をまとめる活動などを通して、総合的に考察する力を伸ばす必要がある。

<第五問> 公民的分野を中心とする地理的分野との融合問題

現代社会に興味・関心を持ち、知識を活用しながら思考・判断する力に課題

2 正答率が35.0%と、記号問題の中で最も低かった。誤答の48.6%がエであることから、為替相場については概ね理解していると思われる。それが貿易にどのように影響するのか、応用力や発想力を養う指導が必要である。

4 時事的内容の知識を問う記述問題であるが、正答率が最も低く、無答率が最も高かった。ニュースや新聞でも目にする言葉だが、知識としては定着していない。社会への興味・関心を高め、授業の内容と日常生活とを結びつける指導の工夫が望まれる。

1 出題のねらいと内容

「数と式」, 「図形」, 「関数」及び「資料の活用」の4領域について, 基礎的な概念や原理・法則, 数学的な表現や処理の仕方, 事象を数理的に考察し表現する力及びそれらを活用する力をみることをねらいとした。

第一問では, 数と式についての基礎的な知識と計算力, 反比例において与えられた x の値から y の値の大小を考察する力, 標本調査から母集団のおよその数を求める力及び球と表面積が等しくなる円柱の高さを求める力をみようとした。

第二問では, 条件を正確に読み取り連立方程式を立式し処理する力, 図形の回転移動によって動いたあとにできる線について考察し処理する力, 関数

$y=ax^2$ のグラフの特徴を理解し活用・処理する力及び起こり得る場合を順序よく整理し考察する力をみようとした。

第三問では, リフトとロープウェーを題材とし, 関数的な見方や考え方を基に, 伴って変わる二つの数量の関係を式やグラフに表現する力及び二つのグラフを活用しながら適切に処理する力をみようとした。

第四問では, 二つの三角形の相似について論理的に考察し, 適切に表現する力, 三角形の相似比を用いて辺の長さや三角形の面積を求める力及び合同・相似な図形を見だし三平方の定理を活用して論理的に問題を解決する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問> 基礎的な計算, 基礎事項についての問題
グラフの特徴を理解し読み取る力, 球や円柱の表面積を求める力に課題

7 第一問の中で最も誤答率の高い問題であった。誤答の6割がイであり, 次いで誤答の2割がウであった。比例定数が負の数となる反比例のグラフの理解が不十分であったと推測される。比例定数の正負とグラフの関係について具体的な事象を用いるなど十分な理解と定着を図る指導の工夫が望まれる。

9 球の表面積や円の面積, 円周の長さについて公式を理解し, 文字を用いての立式が求められる複合的な問題である。無答率が2割と高く, また誤答もさまざまな解答が存在した。a層でも正答率が7割であることから, 円や球についての公式の理解が不十分であると考えられる。特に球に関する公式については, 円柱との関係を模型を用いたり実測をしたりしながら, 実感を伴った理解と定着の工夫が望まれる。

<第二問> 4領域の基礎事項についての問題
得られた解を吟味する力, グラフの特徴を捉え条件から座標を求める力に課題

1 (1)の連立方程式の立式については7割以上の正答率であった。しかし, (2)については連立方程式で解として求めた x と y の値をそのまま利用する誤答が多く見られた。計算で得られた数値にどのような意味があるのか, 丁寧に吟味する習慣を意識した指導の工夫が望まれる。

3 第二問の中で一番正答率の低い問題であった。(1)については, x 座標を4または8とする誤答が誤答の約6割を占めた。条件の式とグラフがどのように対応するのか理解できていないことが推測される。(2)については, 無答率・誤答率ともに高く, 条件の丁寧な読み取りに課題が残った。複数の条件を, 一つ一つ丁寧に数式化し, グラフで表現した上で思考する力の育成が望まれる。

<第三問> 一次関数の活用に関する問題
数量の関係をグラフで表現する力, 立式して解を求める力に課題

1 約9割の正答率であった。距離と速さの関係については十分な理解ができていると思われる。

2 時間と距離の関係をグラフで表現することについては, 正答率が約6割であった。誤答の中には, 定義域を超えて表現したものや, 通る点がずれてしまったと思われるものが約4割あった。定義域について丁寧に吟味するなど, 数式やグラフの意味と問題文の表現との対応について考察し, 正確に情報を読み取る場面を大切にしたい。

3 (1) 駅からゴンドラまでの距離と時間との関係をグラフ化し, 連立方程式で処理する問題であるが, 誤答の8割がグラフから読み取れる値からかけ離れた解答であり, ゴンドラの様子をグラフ化するまでに至っていないものと思われる。(2)の無答率の高さとあわせると, 条件が複数ある問題について, グラフを活用しながら思考し, 立式につなげる力の育成が望まれる。

<第四問> 図形についての問題
証明問題において根拠を正しく述べる力, 図形を多面的に考察する力に課題

1 円周角の定理や対頂角が等しいことなどから二つの三角形が相似であることを証明する問題である。誤答の6割が円周角に着目できなかったものであった。また, 等しい角については見いだしたものの, 用語の間違いや根拠となる理由, 定理の表現等が不十分であるものが目立った。論理的に筋道をたて, 適切に表現する力の育成が望まれる。

3 (1)(2) 三角形の相似や合同, 三角形と比の定理などを組み合わせて三角形の面積と線分の長さを求める問題であったが, ともに無答率が6割を超えていた。どの角が同じか, どの三角形が相似であるかなど, グループ学習の場面で互いの意見を交換するような, 図形を多面的な視点から捉え考察する学習機会を大切にしたい。

1 出題のねらいと内容

自然の事物・現象についての関心や基礎的・基本的な知識・理解，科学的思考力や判断力及び表現力をみることをねらいとした。

第一問では，オオカナダモの葉の細胞の観察，日本列島付近のプレートの動き，手回し発電機がつくり出す電流，粉末を混ぜたときの化学変化を素材として，身近な自然の事物・現象に関する関心，基本的な知識・理解及び科学的な見方や考え方をみようとした。

第二問では，ジャガイモの生殖を素材として，受粉と栄養生殖，いものデンプンのでき方に関する知識，遺伝の規則性について思考する力，無性生殖の特徴について表現する力をみようとした。

第三問では，小球の運動を調べる実験を通して，時

間と移動距離との関係，小球にはたらく力，力学的エネルギーについて思考・判断する力をみようとした。また，凸レンズのはたらきを素材として，像のでき方について思考・判断する力をみようとした。

第四問では，水溶液に電流を流したときの化学変化を調べる実験を通して，イオンのでき方や化学反応式に関する知識，電気分解の現象について思考・判断・表現する力をみようとした。

第五問では，水蒸気が凝結し始める温度を調べる実験を通して，金属の性質に関する知識，飽和水蒸気量と露点について思考・判断する力をみようとした。また，太陽の1日の動きを素材として，日周運動の知識，南中時刻について思考する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞ 4領域の基礎的・基本的事項についての問題
基本的な語句や性質の理解に課題

- (1)から(3)のすべてにおいて，a層では正答率が90%台と高く，b層でも70%を上回ったが，c層のみ50%前後にとどまった。基本的な知識をみる問題であり，確実に身に付けさせたい。
- プレートの移動に関する問題であったが(2)，(3)は第一問の中でも正答率が低かった。長い時間でゆっくりと起こる変化を実際に見せることは困難であるが，動画で示すなど，移動している状況を視覚的に捉えさせる指導が求められる。
- (1) a層とc層で得点率の差が大きく，誤答では「誘導電流」が最も多かった。よく似た語句との違いを明示するなど丁寧な指導が求められる。
- (2)① 計算を伴う問題の正答率が全体的に低く，この問題も56.8%と低かった。電力の計算は，エネルギーの変換と保存を理解する上で不可欠な基礎知識であるので，公式を覚えるだけでなく，計算結果の妥当性を判断する力も確実に身に付けさせたい。
- (2) 指示薬の色の変化から，気体が溶けた水溶液の性質を考察できず，他の指示薬の結果と混同したと推察される誤答が多かった。複数の指示薬を用いた比較実験を行うなど，丁寧な指導が求められる。

＜第二問＞ 生物領域についての問題

減数分裂時における染色体数変化の理解に課題

- 有性生殖の過程における染色体の数と組み合わせの変化を問う作図問題であったが，正答率が41.3%と低かった。誤答の約8割が精細胞中の染色体数を2本としており，減数分裂における染色体数の変化について，より丁寧な指導が望まれる。
- (1)の正答率が語句を問う問題としては最も低かった。誤答としては「分裂」を含む語句が多く，「栄養生殖」を無性生殖の一例と捉えていない傾向が見られた。(2)の論述問題で，正しく説明できた割合も低かったため，栄養生殖の特徴を植物例を示しながら説明させるなど，丁寧な指導が求められる。

＜第三問＞ 物理領域についての問題

実験結果と基礎的性質を関連付け思考する力に課題

- (2) 誤答では，小球の運動の向きと同一の方向を示しているアが最も多かった。実験結果を整理する場面において，運動の向きと，はたらく力の向きを区別して理解させる指導が求められる。
- 凸レンズを通った光の道筋を問う作図問題では，正答率が13.5%と低かった。物体の1点から出た光が再び1点に集まる所に像ができることを正しく理解させるような丁寧な指導が求められる。

＜第四問＞ 化学領域についての問題

実験結果を基に思考して判断する力に課題

- 塩化銅水溶液の電気分解を化学反応式で表す問いでは，a層でも正答率が39.3%と低く，塩化銅を正しく記述できていない誤答や，電離のイオン式を用いて答えた誤答が非常に多かった。塩化銅水溶液は教科書で電気分解の例として取り上げられており，化学反応式の正確な書き方とともに，反応前後の物質の関係について理解させる指導の充実が望まれる。
- 電気分解に伴う水酸化ナトリウム水溶液の濃度変化を説明する問いでは，正答率が7.0%と最も低かった。考察の場面において，実験結果と既習事項を結び付けて思考し，表現する機会の充実が求められる。

＜第五問＞ 地学領域についての問題

実験結果を基に思考して計算する力に課題

- (3) アとイの誤答が多く選択されていた。気温や湿度の異なる様々な条件について思考させ，露点と空気中に含まれる水蒸気の質量との関係を正しく理解させる必要がある。
- (2) 全体の約25%が正答から1時間以上前後する時刻を解答していた。考察の場面において，実験結果を基に思考して計算する問題を取り入れたり，知識を生活体験と結び付けて理解させる機会を設けたりするなど，指導の充実が求められる。

1 出題のねらいと内容

「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4領域について、英語を理解し英語で表現する力及びコミュニケーション能力をみることをねらいとした。

第一問では、絵を見ながら短い会話を聞き内容を理解する力、会話の流れに沿って適切に応答する力及び中学生とALTとの会話を聞き、内容を理解し質問に適切に応答するコミュニケーション能力をみようとした。

第二問では、短い会話の中で、基本的な文法・語法に関する知識・理解及び語彙力をみようとした。

第三問では、英語の授業において、中学校時代の

思い出について発表した高校生のスピーチを素材とし、ある程度の長さの英文の内容を的確に読み取る力及び英文の要旨を正確につかむ力をみようとした。

第四問では、高校生と留学生との間で交わされる、学校図書館の利用者数に関する会話を素材とし、まとまった英文から、大切な部分を的確に捉え、全体的な内容を読み取る力をみようとした。

第五問では、中学生が外国人観光客の手助けをする会話を素材とし、内容を的確に読み取る力、情報や自分の考えを英語で適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞聞き取った英語の内容理解をみる問題

二者の会話の概要や要点を聞き取ることに課題

問題1 1番 全体の正答率は51.5%で、リスニングの問題の中では最も正答率が低かった。会話には、正答であるイラストが示す単語が使われておらず、話の流れから内容を聞き取る力をみている。誤答のほとんどが会話に含まれる単語であるアを選択していた。日頃から、言語使用における様々な場面を設定した言語活動を行い、会話の概要や要点を聞き取る力を養う学習が求められる。

＜第二問＞基本的な文法・語法に関する知識・理解と語彙力をみる問題

基本的な語彙力、発音と綴りの関連付けに課題

2 (3) 正答率は22.5%と低かった。知識を組み合わせで解答する構成となっており、空欄にあてはまる適切な単語が思い浮かばないもの、rain(ing)の綴りの誤り、stopの語法に関する誤りなど、様々な誤答が見られた。英文を読み取れていないこと、あるいは正答となる語の知識が定着していないことが原因であると推測される。言語活動を通して、基本的な語彙と文法事項の定着を図るとともに、発音と綴りの関連性に気付かせ、知識として定着させる指導が求められる。

＜第三問＞英文の内容を的確に読み取る力及び英文の要旨を正確につかむ力、基本的な英文を構成する力をみる問題

内容を的確に読み取り、要旨を正確につかむことに課題

5 英文の3段落目の前半部分と後半部分を的確に読み取り、イラストを選ぶ問題である。正答率は46.8%であり、受験生の約39%が誤答であるイを選んでいった。これは、段落の後半部分を読み取れなかったためと思われる。まとまりのある英文を読んで、内容を的確に読み取り、要旨を正確につかむ力を養うことが求められる。

6 a層の得点率が53.0%、b層の得点率が15.7%、c

層の得点率が4.8%と全体的に低かった。質問文中のto prepare many flowers and potsの箇所を正しく読み取ることができなかったために誤答となったと推測される解答が多く見られた。英文の内容を的確に読み取るとともに、質問の内容を正しく理解し、適切に表現する力を養うことが求められる。

＜第四問＞英文の内容を的確に読み取る力、英文の要旨を正確につかむ力をみる問題

大切な部分を的確に捉えることに課題

5 3者の会話の中から、学校の図書館の利用者数を増やすためのいくつかのアイデアを、読み取ることが求められている問題である。(1)、(2)それぞれ無答率が29.0%、33.3%と高かった。大切な事柄を捉えて的確に読み取ることができるようになるために、要旨をまとめる活動をするなど、指導の工夫が必要である。

＜第五問＞内容を的確に読み取り、情報や自分の考えを英語で適切に表現する力をみる問題

情報や考えを伝える文章作りに課題

2 健太と観光客の会話の流れを読み取り、観光客に対して、休業日であることを伝え、さらに適切な助言をすることを求めた問題である。無答率は26.5%で、昨年度より15%上昇している。また、得点率は31.7%と昨年度より19.5%低下している。c層では無答の解答や、解答の内容が不十分なものが多く見られた。a層、b層では主に表記面での誤りが目立った。特に、「本日休業」を表すのに、restaurant, close, todayなどを適切な形にしたり配列したりして文を作ることや、Why don't you～?などを使って助言をすることに課題がみられた。日頃から、場面設定を明確にしたうえで、情報について説明したり、自分の経験などを基に考えを表現したりするような活動を行い、適切に話すあるいは書く力を身に付けさせることが必要である。

